

## 【資料解説】

### 語彙科

多くの単語を集めた本類。一般庶民階級は、語彙科に分類される往来物を辞書のように利用して知識を得ていたようです。

1

世話千字文

※題簽欠、巻首題を書名とした。

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「武陽福生中福生松原庵」の印。

巻頭には、中国の故事を挿絵入りで掲載。

『世話千字文』には、享保二年（一七一七）刊 京都 文台屋 次郎兵衛板と、享和元年（一八〇二）刊 大阪 系屋市兵衛・河内屋嘉兵衛板、文政六年（一八二三）刊 大阪 河内屋平七板がある。内容は、商売・婚姻・消息・病気の養生などに関する事項。

2

寺子教訓 世話千字文絵抄

個人蔵

「世話千字文は唐の千字文にならひて世上の事をつゞりしゆへ世話と題をかうむり世は世上のこと話はものがたりと

いへる文字にして世上日用重宝の文字のみ一千字あつめしなり：」ノド丁「千ノ一」ウ

千字文の本文を大きな字で、その注釈を小さな字で記す。一丁にはぼ一葉の挿絵がある。

3

新板 千字文 へかな付

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「声々」の印。

巻頭に「十二支の図」「九九の声」寺子屋の挿絵なども掲載。

4

新板 小野篁歌字尽

個人蔵

類似した漢字を四六字ずつ挙げ、訓読みを付す。学習の学習に入ろうとする子どもが漢字を覚えるための教科書である。近世初期より幕末まで、板種は多数ある。江戸時代の一般庶民階級は『新板 小野篁歌字尽』の類の往来物を、辞書のように利用して文字に関する知識を得ていた。

### 消息科

手紙の文例集の形式で書かれている往来物。消息科に分類される往来物は、手紙の書き方を学ぶだけでなく、多くの単語や知識まで学習できるように工夫されている。代表

的な往来物として『庭訓往来』がある。

5 庭訓往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「芭蕉直系 松原庵」の印。

庭訓往来の本文のみを掲載。

6 庭訓往来

個人蔵

※題簽欠、見返題を書名とした。

「野州日光 本町二丁目 山田屋」の貸本屋の印あり。

巻頭に鎧甲の挿絵と名称を掲載。

7 庭訓往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

本欄に「庭訓往来」、頭欄に八的、矢、歌人、農具、建物、果実、諸職、魚、鳥、獸、馬、馬具、装束、樂器、僧侶に関する事、茶器、食べられる植物などの挿絵と名称を掲載。

8 菊寿庭訓往来絵抄

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、見返題を書名とした。

本欄は「庭訓往来」、頭欄には宮廷行事、和歌に関する言葉。農具、植物、諸職、婚礼の道具、旗、武器など生活に密着した言葉や名称を絵入りで紹介。

9 倭国用文章

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「松原庵」の印

頭欄にそろばんの事、「五幾内」、「五性名頭文字」、本欄に手紙の文例・返事・手形・証文や地名など記載。

〈参考〉のちに、若林逍遙堂より写真10『和国用文章』として出版。

10 和国用文章

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「森田蔵書」「伊東蔵書」の印。

「此用文章者手形証文其外頭書算法国尽加調法之本也」〈見返し〉

「用文章」(柱刻)

頭欄にそろばんの事、「五幾内」、「五性名頭文字」、本欄に手紙の文例・返事・手形・証文や地名など記載。

〈参考〉曲江堂・昌雅堂より出版された写真9『倭国用文章』の目録題・柱刻題から「倭国」の二字を削り、見返し・広告・刊記を差し替えて摺刷した本。



11

〈世俗通用〉一筆啓上

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

「年始之文」「同返事」「初午稻荷詣之文」「上巳祝儀之文」「同返事」など漢文の手紙の文例を四十六例と、「諸国御関所附」を掲載。

12

〈当時通用〉一筆啓上

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、見返題を書名とした。

「武州野邊 野嶋」の貸本屋の印あり。「年始の文」「同返事」「梅見に誘ひ遣す文」「初午稻荷の文」など漢文の手紙文例集。

13

富士野往来

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「頼朝公富士のさかりの事を文章につゞりたる幼学児童の手本也」(写真14『手紙之文言』広告)  
鎌倉時代初期の建久四年(一一九三)に行われた富士野巻狩と、そこで起こった曾我兄弟の仇討ちを題材にした文書・書簡を集めた古往来。

14

手紙之文言

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

四季・五節句祝儀状や通過儀礼に伴う手紙など、漢文の手紙文例集。近世になると十返舎一九のほか、山東京伝、式亭三馬らも往来物の著述を手がける。

## 教訓科

教訓的な内容に重点をおいて編集された往来物。特に「実語教童子教」は、板種が非常に多い。

15

実語教童子教証註

福生市郷土資料室蔵

本欄は実語教と童子教の本文を載せ、あい間に割注を付ける。頭欄は本文の訓読みを載せる。

16

実語教童子教

福生市郷土資料室蔵

※書き題簽。

頭書は学問の必要を挿絵入りで説き、本欄は実語教童子教を掲載。

17 実語教童子教

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

「武陽福生中福生 松原庵」「松原庵」の印。

本欄には実語教と童子教を載せる。

頭書には、「書道訓」「四季の文章」「東百官名」「偏冠尽」、  
卷末に「月の異名」「不成就日」「願成就日」「十二支」「十  
幹」「三体伊呂波」を掲載。

18

〈頭書絵入〉謹身往来精注鈔

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「御せいばいにか、はりたる入用の文字をあつめて往来に  
つゞりたる本なり」(写真14『手紙之文言』 広告)

『謹身往来』は、江戸町人の言葉・生活・心得を説いた往  
来物。その『謹身往来』の児童独学のための注釈書が『謹身  
往来精注鈔』。

19

寺子教訓書

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、巻首題を書名とした。

手習いの大切さを説く。

古い書状を集めた古状揃や、伝記に重点をおいて編集さ  
れた往来物。

20

〈新刻改正〉連玉古状揃宝箱

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、巻首題を書名とした。

はじめに近江八景、「和俗制作の文字」「伊勢齋宮忌詞」、  
本欄に「今川了俊対愚息仲秋制詞条々」、頭欄に「江戸名所  
往来」「五性名乗字」「人相手引指南」「外国名集」などを掲  
載。

21

文溪古状揃 〈文鑑入〉

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「武陽福生中福生 松原庵」の印。

本欄に「今川了俊対愚息仲秋制詞条々」、頭書に「曾我状」  
「腰越状」「義経含状」「熊谷状」「経盛返状」「大坂状」、卷  
末に「十二月の異名」「五性名頭字尽」など掲載。

22

初学古状揃

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、巻首題を書名とした。刊記は左半分破損。

本欄は、「今川状」「手習状」「腰越状」「義経含状」「弁慶

状」「熊谷状」「同返状」「曾我状」「同返状」「大坂状」「同返状」。頭欄は「木曾願書」「弁慶勸進帳」「正尊起請文」「楠正成壁書」「百官名」「東百官」「大日本国尽」「永字の八法」「誌人心得草」「五節句故事」「吉書初詩歌」「七夕詠詩歌」「男女五性名頭字」「謠名寄文章」「品物異名文字」「近江八景詩歌」「法体名つくし」「真草偏冠尽」「士農工商乃図」「十二支之図」を掲載。

## 地理科

日本の地名を列挙した国尽や地誌に重点をおいて編集された往来物。

23

頭書絵入 寿世江戸往来

本欄は「自遣往来」、頭書に「文字用様之事」「四時之詩歌」などを掲載。

個人蔵

24

江戸往来並八景和歌

「自遣往来」を掲載。

個人蔵

25

誤字改正 江戸往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※書き題簽。

「松原庵」「森田蔵書」の印。

書名は書き題簽に拠る。

本欄に「自遣往来」、頭書に「諸用手紙の文」「諸用手形案文」「諸国御関所」など掲載。

## 産業科

農業・工業・商業などに関する物の名称に重点をおいて編集された往来物。

26

商売往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「此商売往来為兒童習学之文字改付仮名正加頭書令板行者也」(巻末)

本欄に「商売往来」、頭書に「諸礼法式図抄」、「魚鳥目錄書様」、「偏冠構字尽」、「書判相性の事」、「有卦無卦の事」、「十二支」、「天神きょう」など掲載。



〈明治の『商売往来』〉

27

〈新撰〉 商売往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「商売往来」を白文で掲載。表紙は破損。

28

大栄 商売往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

本欄に「商売往来」、頭欄に「大日本国尽」「五性名頭」「篇冠構尽」「不成就日事」「願じゃうじゆ日」「五性居判事」「三年ふさがりの方」「守本尊の歌」、巻末に「十幹の絵図」「十二支の絵図」「商売往来」「九々の数を知る事」を掲載。

29

商売往来

個人蔵

見返しに、「願成就日」「不成就日」「炎の忌み日」などを載せる。

30

〈両点講釈〉 大全 商売往来

福生市郷土資料室蔵

「商売往来」に両点（音訓）をふり、後ろに「商売往来講釈」を付す。

31

〈新刻〉 百姓往来

福生市郷土資料室蔵

※題簽欠、見返題を書名とした。

本欄に農民の生活全般にわたる物の名称と頭書にその挿絵を記す。

32

延寿 百姓往来大成

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽一部欠、見返題を書名とした。

本欄に「百姓往来」、頭欄に「四姓名頭字」など掲載。

33

番匠 往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

番匠とは大工のことで、大工が使う単語を収める往来物。

理 数 科

九々やそろばんを使った計算の方法、入子算など、理学や算数に関することに重点をおいて編集した往来物。

34

塵劫記 大全

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※表紙及び本文の一部欠、柱刻題を書名とした。

寛永四年（一六二七）刊『塵劫記』は吉田光由の著作で、

近世に最も普及した通俗和算書。本欄に、九々・割算・そろばんの計算など商人に必要な計算の類を収録し、頭欄に男子に求められる知識・教養を載せる。

### 〈珠算の本〉

35

(珠算手引書)

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、内題なし。

「九九之声」「八算のわり声」「屋根ふき板積々様の事」「材木売買歩割の事」「入子算の事」など掲載。

## 女子用

女子教育の必要性から、女子用の往来物も編まれた。女性の生活に密着した知識・教養・教訓が盛り込まれている往来物。

36

(女大学)

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「女今川」と並んで最も板種が多い女子用往来。本欄は、「女大学」を大きな字で載せ、頭欄には女性に求められる知識・教養を挿絵入りで掲載。

37

〈元治新刻〉女大学操鑑

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

「此書は婦人いとけなき時より嫁して後までの事をいましめし書なり並に源氏物語其外女の重宝になるべき初春の詩歌七夕の歌づくし衣立もの、伝または染物の次第ことごとくしるせり」(序)

頭書「裁物早学問」「秘伝早染草並染落し」、本欄「紫式部の伝並源氏五十四帖」「女大学」などを掲載。

### 〈明治の『女大学教箱』〉

38

〈頭書絵入〉女大学教箱

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「松原庵」の印。

頭書「小笠原流折形の図」「女中名頭字」「大日本国尽」、本欄「女大学」「今川になぞらへて自らをいましむ制詞の條々」(元禄二三年板)「四季の文」など掲載。

39

女大学宝箱

個人蔵

※一丁目は破損。

本欄には「女大学」を載せ、頭書には化粧の話、「源氏五十四帖引歌香の図」「七夕歌づくし」折形などを挿絵入りで掲載。『女大学宝箱』は、享保元年(一七一六)刊大坂柏原



屋清右衛門板が古い。この山口屋藤兵衛板は、見返しの方の行に書肆の名前がないなど不自然な部分が見られるため、海賊版かと思われる。

40

女庭訓大倭囊

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

「芭蕉直系 松原庵」「松原庵」の印。

「右女庭訓往来一冊応栄久堂需訂誤字改訛訓略加傍注了

辛亥夏 浅草笠亭主人」

本欄は、「女庭訓往来」、頭書には「五節供略説並

本文弁誤」女性に求められる知識・教養が掲載。

41

女庭訓御所文庫

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

前付に「文車ちりつかの図」「源氏貝和歌」などを掲げ、本欄に「女庭訓」、頭欄に「女教訓躰方」「手習並女文字の始り」「玉章のはじまり」「女信の道を守事」など多岐にわたる内容に挿絵を多く加えた往来物。

42

倭小学

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

男子・女子それぞれの教育内容の違いを解く。

「男子には返事をはやくいはせ。女子には返事をゆるくいはせ。男の子はつよきを本とすれば。皮のおびさせ。女の子はやはらかなるを本とすれば。糸のおびさすべし……」(二才)

朱子の『小学』和訳諺解した入門書。「大和小学」または、「やまと小学」ともいう。各巻に数葉の中国風の挿絵がある。

43

女早学問

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

『女早学問』は、明和元年(一七六四)刊『女学範』を簡約し、俗言をもつて平易な文章に改めた往来。婦訓・婦言・婦容・婦功を中心に学問の大意・染色・琴・双六・雛祭り・七夕祭りなど、女子教育に求められる教養や心得について記す。

44

女消息往来

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

「松原庵」「森田蔵書」の印。

「女消息往来」に訓読みをつけて掲載。

45

改正再板 女今川梅花文庫

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。



「森田蔵書」の印。

『女今川』には、貞享四年（一六八七）板 窪田つな書・跋と、元禄一三年（一七〇〇）板 沢田吉作・序がある。『改正再板 女今川梅花文庫』は、元禄一三年板系統。本欄には、「今川になぞらへて自をいましむ制詞条々」、頭欄は婚禮の次第などを挿絵入りで掲載。

46 女用文増鏡

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、見返題を書名とした。

五節句における文と返事の例文集。散らし書きも収められている。

47 女実語教

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※題簽欠、巻首題を書名とした。

「武陽福生中福生 松原庵」の印。

頭欄「女実語教」「今川の制詞になぞらへ女を誠の条々（元禄元年板）」「女状文章」「女大学」「衣服字尽」「女状文章 目録」「女文の封じやう」「かたかないろは」など掲載。

「此書は女子の父母舅姑につかえ夫にしたがひ一生身を治る教誡をしるしめんがため実語教童子教になぞらへ記す」

（巻首）

48 女論語

福生市郷土資料室蔵【森田文庫】

※書き題簽。巻首題も「女論語」。

「武陽福生中福生 松原庵」の印。

見返しに裁縫をする女性の図、次に「四民女教訓」を挿絵入りで載せ、巻末に「小笠原流折形」を収める。

『女論語』には、立身・学作・学礼・父母のこと・舅姑のことなど、それに「列女伝」「続列女伝」の説話を加える。

〈草双紙に描かれた折形〉

49 北雪美談時代加賀見

二十編下（上は欠） 福生市郷土資料室蔵

二世為永春水・柳水亭種清作 二世歌川国貞・同国明・松斎吟光画 初世国貞表紙

安政二（一八五五）〜明治一六（一八八三）刊

多賀家に復讐を決意した藤波由縁之丞という美少年と多賀家の忠臣との攻防を描いた話。

〈折形雛形〉

50 折形雛形

福生市郷土資料室蔵

〈手習手本〉

51 「いろは」手習手本

福生市郷土資料室蔵

「かなつかひ」手習手本

福生市郷土資料室蔵

〈草双紙に描かれた手習草子と反古〉  
はんこ

侠客伝きょうかくでん 仲模略説なつかしなえとぎ

初編上九ウ・十オ

福生市郷土資料室蔵

楽亭西馬作 歌川国輝・同国綱画

嘉永三（一八五〇）〜安政四（一八五七）刊

南朝方の遺臣脇屋義隆の子小六を主人公に、不遇な時代を生きる忠臣たちを描いた話。

明鴉墨画あけがらすすみえ 廻襦袢のうちかけ

七編上九ウ・十オ

福生市郷土資料室蔵

春亭春馬・二世柳亭種彦作 二世歌川国貞・歌川国政画

文久元（一八六一）〜慶応三（一八六七）刊

新内節『明烏夢泡雪』、人情本『明烏後正夢』で人気の浦里・時次郎を主人公とした話。

朧月猫おぼろつきねこの草紙そうし

六編上五ウ・六オ

福生市郷土資料室蔵

山東京伝作 歌川国芳画

天保一三（一八四二）〜嘉永二（一八四九）刊

猫を擬人化して道行きや吉原遊郭の恋を描いた話。



## 森田文庫

「森田文庫」は、市内の旧家森田家に代々伝わる幕末明治を中心とした、主に教育・漢詩文関係の約二三〇〇点に及ぶ資料群です。これらの資料群は、俳諧や漢詩などの教養が庶民に広がっていく状況を知ることの出来る貴重な資料です。

森田家は江戸時代に寺子屋中福生大学なかぶきだいがくを開設し、村内子弟の教育に尽くしました。その森田家の現当主である森田崇旦氏の協力を受けこれら資料群は、福生市登録文化財第五一号『森田家旧蔵俳諧等文芸資料』として登録され、「森田文庫」の名称で目録化され、福生市郷土資料室に大切に保管・管理されています。

### 「松原庵」の蔵書印

「松原庵」とは、森田文庫を有した森田家の家系で、明治初期に俳諧で活躍した松原庵四世森田友昇に因んだ名称です。森田文庫の多くには、この「松原庵」の蔵書印がみられます。

### 参考文献

- 『近世女子教育法』一八九九・四・一八 育成会編 代表石川栄次 同文館
- 『往来物落穂集』一九二七・五・二五 石川謙編 文修堂書店
- 『大江文庫目録』一九二九 東京家政学院大学編 東京家政学院短期大学発行
- 『江戸についての話』一九五五 岡本綺堂著
- 『寺子屋』一九六〇・二・一五 石川謙著 至文堂
- 『国書総目録』一九七〇・緑川亨発行 岩波書店
- 『日本教育史資料』一九七〇・七・三一 文部省編 臨川書店
- 『江戸時代の教育』一九七〇・一〇・三〇 R・P・ドーア著 松居弘道訳 岩波書店
- 『幕末の私塾・蔵春園―教育の源流をたずねて―』一九九二・七・一〇 恒遠俊輔著 葦書房
- 『福生市史』上巻 一九九三・六・五 福生市史編さん委員会編
- 『福生市史』下巻 一九九四・一二・二八 福生市史編さん委員会編
- 『往来物分類集成』一九九四 石川松太郎・天野晴子 雄松堂フィルム出版
- 『江戸の寺子屋と子供たち』一九九五・六・一六 渡邊信一郎著 三樹書房
- 『日本書誌学を学ぶ人のために』一九九八 広庭基介・長友千代治著 世界思想社

『日本庶民教育史』一九九八・六・五 石川謙著 玉川大学出版部

『書誌学談義江戸の板本』一九九九 中野三敏著 岩波書店

『往来物解題辞典』二〇〇一・三・一〇 石川松太郎監修 小泉吉永編著 大空社

『図書館情報大学所蔵往来物目録』二〇〇一・二・二五 錦拔豊昭発行

本展示の主旨に御賛同いただき、ご協力たまわりました  
皆様に深甚の意を表します。

ご協力いただきました機関と方々（敬称略・順不同）

森田崇旦

福生院

清岩院

千手院

真福寺

長徳寺

福生市郷土資料室 平成十五年度特別展

## 江戸の教科書

—往来物と子どもたち—

編集・発行

福生市郷土資料室

東京都福生市熊川八五〇—

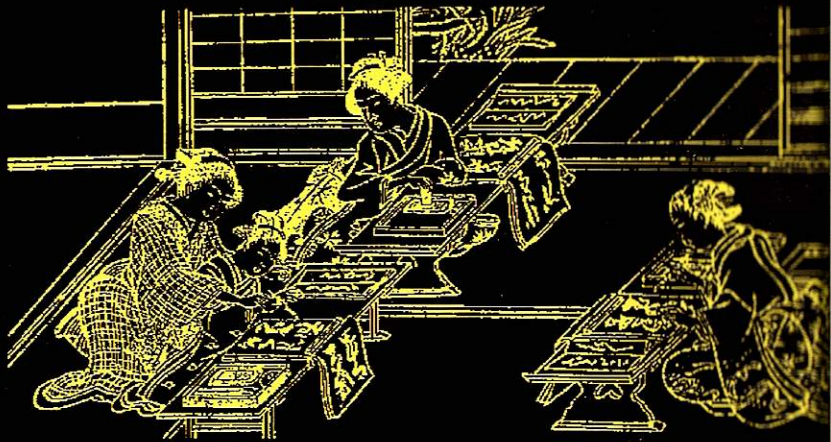
TEL(〇四二)五三〇—二二〇〇

平成十六年二月三日発行

発行日  
印刷

電算印刷株式会社





因果の道理  
と  
幼童と誘引せんがあり

経多と幼童の



因果の道理の  
誘引のたぐひ  
あつて  
いとき  
あつて  
因果の道理の  
誘引のたぐひ  
あつて  
いとき  
あつて

名頭  
手本  
よみ

